

# 出 会 い の 森

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

## 阪神・淡路大震災から30年 子どもたちに何を伝えるか

校長 廣瀬 尚美

今年で阪神・淡路大震災発生から30年が経過しました。大きな被害の一方で災害ボランティアが定着する契機になるなど災害対応のあり方を変えた震災と言われています。このときの地震の滋賀県の震度は5で大きな揺れに驚いたものの大きな被害はありませんでした。兵庫県ではもっと大きな揺れがあったことはわかったものの、すぐには被害状況は伝わってこず、徐々にわかってきた被害のすさまじさに大きな衝撃を受けたことが記憶に残っています。

2011年3月11日には東日本大震災が、2024年1月1日には能登半島地震が発生するなど、かなりの頻度で大きな被害をもたらす地震が発生しています。滋賀県は、比較的地震が少なく、1909年（明治42年）8月の姉川地震以降大きな被害は出ていません。しかし、大きな地震にみまわれる可能性はあるため、子どもたちには、自分の身を自分で守る行動を身に付けてほしいと考えます。

1月15日に実施した避難訓練は、業間休みの時間に行いました。子どもたちには、14日～17日のどこかで避難訓練を行うことは知らせていましたが、教員はできるだけ職員室に戻り、子どもたちが判断して行動させたいと考えました。

今回は火災を想定していたので、子どもたちは安全に非難することが第一優先でした。多くの子が、火災による有毒ガスを吸わないように口をハンカチ等でおおって逃げることを実践していました。

これまで、火災の他には地震や不審者侵入の場合の避難訓練を行っていますが、放送などで正しく情報をキャッチしたうえで判断して、行動に移してほしいと思います。

災害対策には、自助（自分や家族の身を自分たちで守る）・共助（地域やコミュニティで助け合う）・公助（国や地方自治体などによる援助）があります。玉津学区の防災訓練では、能登半島地震で使用された段ボールハウスや簡易トイレについて知るなど避難所の設営を想定した体験が行われ、地域での備えが進められていることがわかります。

令和6年5月に「NIPPON 防災遺産」が内閣府と国土交通省で創設され、地域で発生した災害の状況を分かりやすく伝える施設や災害の教訓を伝承する活動などを認定しています。被災地からの発信を私たちは受け取ることができるのです。

被災された方々は、そのときの記憶を悲しみを乗り越えて語ったり文につづったりしてくださっています。未来につなぎたい強い思いを含めて受け止めて、防災（減災）に生かさなければと感じます。

子どもたちは守られる存在から、やがて防災（減災）の担い手へと成長します。自分や家族を守るために行動し、地域の中で弱い立場の人を助ける存在となれるよう、自分自身が大切な存在であることを実感するとともに、周囲の人を大切にできるように、保護者や地域の皆さんとともに育んでいきたいと思います。

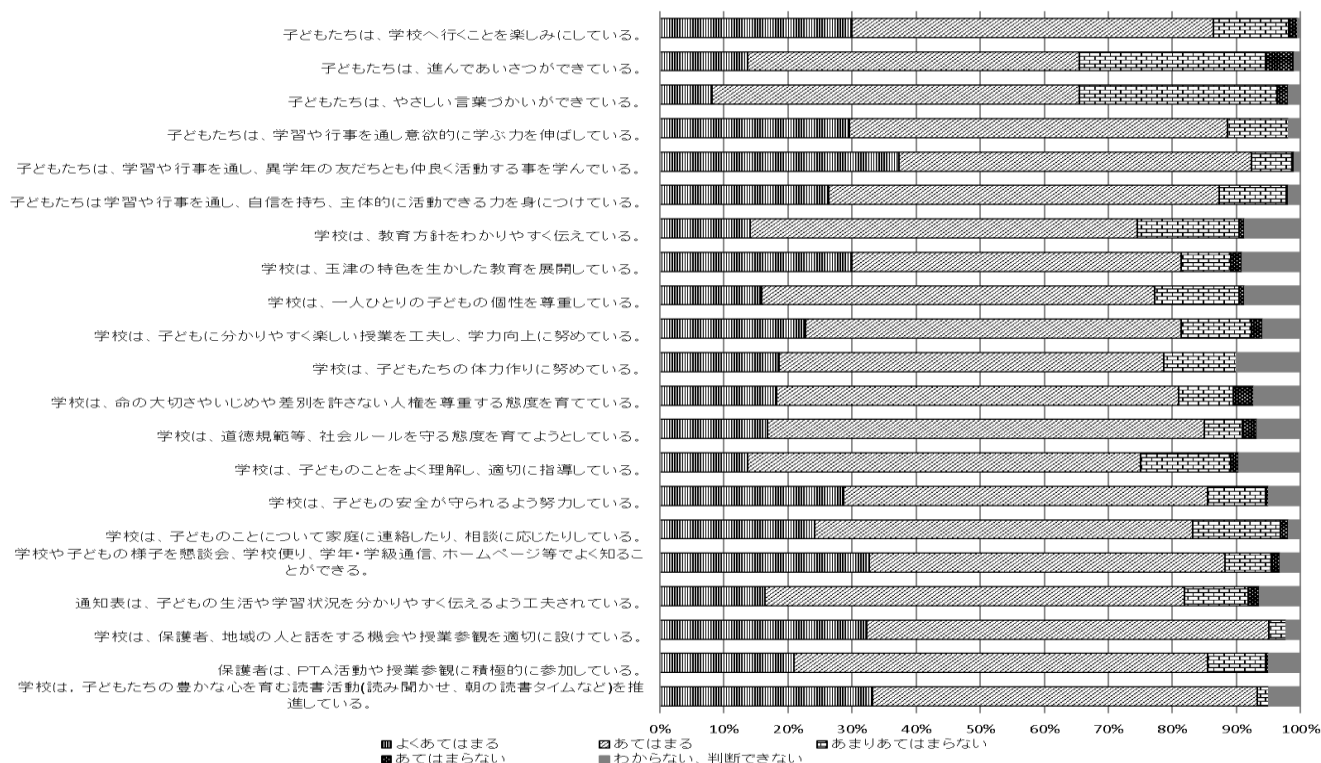


## 学校診断アンケート結果から

【回収率 68.5% (220 人／321 人)】

昨年 12 月に学校診断アンケートを実施いたしました。保護者の皆様、学校評議員の皆様には、おいそがしい中ご協力いただき誠にありがとうございました。

### 2024年度 学校診断アンケート(保護者)



アンケート結果を見ますと、「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定的な回答が全 21 項目のうち 15 項目で 80%以上のよい評価をいただきました。しかし、“進んであいさつ”については、1 月にお知らせしました児童評価アンケート結果と同様、意識して取り組む必要を感じる結果となっています。学校だけでなく、地域においてもあいさつができるように、支援していきたいと思ひます。

また、“子どもたちは異学年の友だちとも仲良く活動することを学んでいる”ことに高い評価をいただいている一方で、“やさしい言葉づかいができています”かについては、課題が残る結果となりました。ことわざにも「親しき中にも礼儀あり」とありますように、子どもたちの言語環境について今一度見直しを行い、相手のことを尊重した言動がとれるよう指導を重ねていきたいと思ひます。

今後も、子ども一人ひとりのよさや課題を把握し、認め励ましながら適切な支援が行えるよう努めてまいります。そのほか、皆様からいただきました本校の教育活動についての貴重なご意見についても、全職員で共通理解し、改善できるものから取り組んでまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 地域の皆様、学びへのご支援ありがとうございました。

今年度も多くの地域の皆様が、ゲストティーチャーとして様々なことを子どもたちにご指導くださいました。地域の皆様のこうした温かいご支援ご協力により日々の教育活動を充実できましたことを、心よりお礼申しあげます。中でも、ひばり文庫さんと語り部さんにつきましては、金曜日の朝学習の時間に何度もご来校くださり、絵本の読み聞かせや玉津の歴史についての語りをしてくださいました。おかげ様で本が好きな子ども、地域に愛着をもつ子どもが育ってきているように思ひます。来年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

